

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

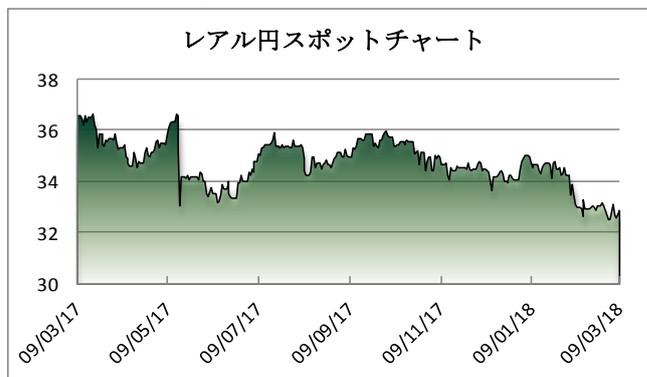
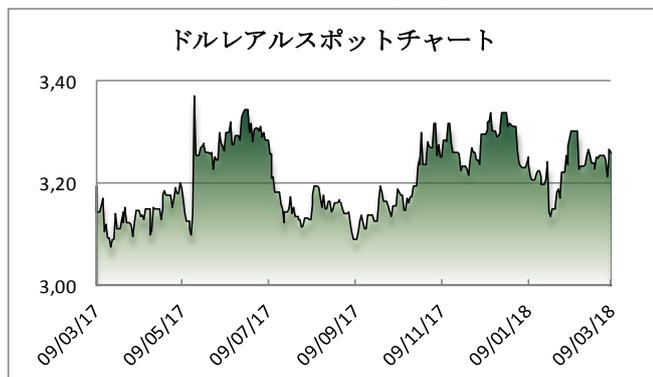
先週末のドルレアルスポット相場は、米2月雇用統計を受けてドル売りが優勢となり、一時3.23台前半までドル安レアル高が進行。その後引けにかけてはレアルが反落し、3.25台半ばで取引を終えた。注目された非農業部門雇用者数は前月比31.3万人と、市場予想の20.5万人を大きく上回った他、先月と昨年12月分も合計で5.4万人上方修正されるなど、非常に強い内容となった(失業率は4.1%で前月から変わらず)。これ自体はグローバルにドル買いを誘発する十分な材料であったと言えるが、平均時給が前年比で+2.6%と前月(速報値: +2.9% → +2.8% へ下方修正)から伸びが鈍化、前月比でも+0.1%(前月: +0.3%)と減速するなど、賃金の伸びが総じて鈍化したことから、年内の利上げペース増加の思惑をもたらすには至らなかった。なお、ボストン連銀総裁のRosengren総裁は、マサチューセッツで開催したイベントにおいて、「経済が力強く、労働市場も引き締まっていることから、今年FOMC参加者が昨年12月に示した予想である3回の利上げを実施することが望ましい」と発言している。

NYを往訪中のMeirelles財務相は米政府が行った輸入関税措置について、「ブラジルにとっては米国に代わる代替市場を模索する契機となる」と発言。「世界の他の地域とのつながりを深めるべきであり、特に欧州との協議を進展させる必要がある」との見解を示した。

マーケットデータ

Indicator		Unit	3月8日	3月9日	前日比	1ヶ月前比	(年初来)高値	(年初来)安値
レアル	対ドル	BRL	3,2649	3,2559	-0,28%	-1,40%	3,1210	3,3182
	対円	JPY	32,52	32,81	0,89%	-0,46%	35,13	32,25
	対ユーロ	BRL	4,0202	4,0073	-0,32%	-0,79%	3,8531	4,0785
円	対ドル	JPY	106,23	106,82	0,56%	-1,82%	105,25	113,39
	対ユーロ	JPY	130,79	131,46	0,51%	-1,38%	129,35	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	84.985	86.371	1,63%	6,76%	88.318	76.403
CDS Brazil 5yrs		bps	152,00	146,72	-3,47%	-14,50%	188,62	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	9,54	9,58	0,42%	-3,62%	10,07	9,47
DI Future Jan19 (金利先物)		%	6,46	6,45	-0,08%	-4,09%	6,94	6,44
3 Months US Dollar Libor		%	2,0714	2,0888	0,84%	14,77%	2,0888	1,6959
CRB Index (国際商品指数)		Index	193,66	195,15	0,77%	3,52%	201,19	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。